

市民文教委員会が小学校を視察した際、子どもたちから「議員って何をしているの?」と質問を受けました。

そこで、市議会だよりでは、今年度『市議会キッズページ』を4回掲載し、議会や議員についてわかりやすく説明していきます。子どもたちだけでなく、大人の方にも楽しんで読んでいただけたら幸いです。



市議会キッズページ



くらしきしぎかい 倉敷市議会ってなあに?



倉敷市は、子どもからお年寄りまで、市民の生活に関係する身近な仕事をしていて、どれも大切なことばかりです。住みよいまちにするためには、市の目標を定め、その実現のために何をしたらよいか、市民みんなで話し合い、決めていかなければなりません。

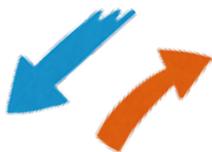
しかし、倉敷市には48万人の市民が住んでいて、みんなで話し合うのは難しいため、選挙で代表者を選んで話し合いをします。この話し合いの場が倉敷市議会で、選ばれた代表者が市議会議員です。

どんなことをしているの?

・市議会議員を選挙で選ぶ
・願いを伝える



・市長を選挙で選ぶ
・願いを伝える



みんなの意見を聞く



みんなのために仕事をする



市議会議員

・市の仕事を決めたり、チェックする
・みんなの意見を伝える



予算や条例などを提案する



市長

市議会議員は市民の意見を聞いて、住みよいまちの実現を目指していろいろな提案をしたり、市議会で決めたことがどのように役立っているかをチェックするなどしています。また、市の重要なルール(条例)を決めたり、変更したりすることや、道路を直したり、学校園をつくったりするなどの市のお金の使い道(予算)を決めたりしています。市議会は、市長と互いに意見を出し合い協力して、住みよいまちの実現にとっても大切な役割を果たしています。